

私が出会った  
あの人の

### マイク・マンズフィールドさん 「ただのプロ・アメリカンにすぎない」

松尾 文夫



出版の際には喜んで序文を  
寄せてくれた 1978年

の忘れ得ぬ思い出の  
ひとつである。

当時30代前半、日本  
のワシントン特派  
員団の中でも最若年  
のグループに属した  
私が、なぜこれだけ  
の大家と何度も会え  
たのか。ワシントン  
に移る前、約1年い  
たニューヨーク勤務時代から、ワシ  
ントンでは沖縄施政権返還問題の取  
材が勝負になると読んで、ニュース  
ソースの確保を仕込んだからであ  
る。コロンビア大学教授におさまっ  
ていたケネディ時代のアジア担当国  
務次官補、ロジャー・ヒルズマン氏  
に目をつけ、ワシントンでの沖縄関  
係のニュースソースの紹介を頼み込  
んだ。同氏が即座に紹介してくれた  
のがマンズフィールド院内総務の補  
佐官に就任したばかりのフランシ  
ス・バレオ氏だった。これが大当た  
りだった。

とにかく答えが短  
かった。何を質問し  
ても、ほとんど「イ  
エス」「ノー」「そ  
うかもしれない」「そ  
う期待する」「知らない」「いえな  
い」といった六つぐらいのパターンに  
収まって戻ってきた。

それでも十分記事になり、全国紙  
を含めた当時の加盟社によく使われ  
た。沖縄施政権返還がようやく実現  
に向かって動き出した頃で、インタ  
ビューの相手が、早くからの沖縄施  
政権返還支持者で、その議会での承  
認のカギを握る民主党上院院内総務、  
後に大使として日本にやってくるマ  
イク・マンズフィールド上院議員だ  
ったからである。半年に1回ぐらいの  
割で会えた。1966年1月から69  
年4月まで、アメリカの激動期を取  
材した最初のワシントン特派員時代

57年の段階で沖縄を現地調査し、  
施政権の早期返還を提案するリポ  
ートをまとめあげていたこともあるバ  
レオ氏はイタリア移民の2代目。会  
ったときから気持ちを通じた。マン  
ズフィールド院内総務の日程を握る  
アルメニア移民の秘書を紹介してく

れたのが大きかった。彼女のお陰で  
69年4月、私が任期を終えるころに  
は、マンズフィールド院内総務が上  
院本会議場の細長いオフィスを出  
て、上院本会議場まで行く約5分間  
を一緒に歩いて、質問に答えてもら  
う「単独会見」の「特権」をもらっ  
ていた。

その後、議会スタッフとしては最  
高位の上院事務総長までのほりつめ  
たバレオ氏は、家族ぐるみの終生の  
友人であり、アメリカ政治の「読み  
方」についての貴重な指南役だった。  
このマンズフィールド議員が私に  
一度だけ多弁だったことがある。

「私は日本では、プロ・ジャパニ  
ーズ(日本びいき)の議員として通っ  
ているらしいが、これはたいへん迷  
惑なことだ。確かに私は日本および  
日本人を尊敬している。日本がかか  
える問題も理解しているつもりだ。  
しかし、もし私の発言や行動が日本  
のためになっているとしても、それ  
は私が米国のためになると思っ  
たことの結果にすぎない。沖縄返  
還も、米国のためになるから賛成し  
ているのだ。私はごく普通の愛国的  
な米国人でしかない。ただのプロ・  
アメリカン(米国びいき)にすぎない」  
私が帰国する挨拶も兼ねて最後の  
インタビュに訪れた時である。こ

のいつになく感情を露わにしたマン  
ズフィールド議員の言葉は、今も昨  
日のことのように鮮明である。

ワシントンを訪れる日本側要人の  
中には、同議員をまるで沖縄施政権  
返還実現のためのロビイストのよう  
に扱うものまで出始めていたところ  
である。「ただのプロ・アメリカン」  
と「ただのプロ・ジャパニーズ」が  
軌跡を同じくする道を見つけ出すこ  
との難しさ。日米関係は昔も今も変  
わらない。

そのマンズフィールド議員がなん  
と77年、22代目の駐日米大使として  
着任した。私のことは忘れておらず、  
当時の深瀬和己共同通信編集局長と  
の日本のメディアとしては最初の単  
独会見に応じてくれた。短い答えは  
同じだった。78年には、私が50年代  
にまでさかのぼる大使の日本問題、  
ベトナム政策、中国問題についての  
演説や報告をまとめて「マンズフィ  
ールド、私の日本報告」と題して、  
サイマル出版会から出版することを  
快諾してくれ、序文を寄せてくれた。  
マンズフィールド氏は01年、バレ  
オ氏は06年、いずれも鬼籍に入られ  
た。あらためて二人のご冥福を祈り  
たい。

まつお・ふみお ジャーナリスト  
元共同通信ワシントン支局長